

**第14期 / 特許明細書・意見書 / 補正書作成  
演習講座(7時間・6単位) / 平日夜3日コース**

**構成要件と新規性・進歩性をどのように判断するか?  
膨大な公報を読み込んできた審査官の見方・考え方を学ぶ  
請求項の読み方と書き方の実務演習**

**受講対象** 企業の知財関連業務についている方、 弁理士・特許事務所勤務の方  
**実施条件** 成立条件、参加受講生の数6名以上  
**日程** 7月10日(火)、7月17日(火)、7月31日(火)、各18:40~21:00/7時間  
**申込期限** 2012年 7月 4日(水)  
**課題提出** 1回目・課題(1)7/10日午前中、 2回目・課題(2)7/15日、 3回目課題(3)7/28日  
**受講料** 32,000円(消費税別、資料代含む)/消費税込み33,600円  
**会場** (株)エイバックズーム内(千代田区神田小川町3-2)  
**受講生** 各自ノートパソコンと事前送付資料等持参 継続研修:継続研修申請による予定単位 6単位  
**講師** 鈴木伸夫 弁理士、元特許庁審判長・審判部部門長

**日本弁理士会会員の皆様へ**  
 当社は、日本弁理士会の継続研修を行う外部機関として認定されています。この研修は、日本弁理士会の継続研修として認定を申請中です。認定後、この研修を修了し、所定の申請をすると、6単位が認められる予定です。

**3日コース/カリキュラム&スケジュール**

<例題1>には課題(1)(2)、<例題2>には課題(3)とがあります。

**受講前準備作業 7月5日(木)に課題(1)資料を事前発送。(事前に送付された特許公報を読んで出席)**

<b>時間配分</b>	<b>初日7/10(火曜日)、2時間20分 会議室集合:18:40~21:00pm</b>	
18:40-19:00	Orientation(受講の説明)&例題1と課題の説明	
19:00-20:00	例題1・課題(1)の配布	類似品の提示、
	(講師)類似品と特許権 テーマ:侵害や否やの検討/例題1・課題(1)	チームでの検討
	休憩:10分	
20:10-21:00	課題(1)の結論は?:講師・受講生との討論	課題(2):請求項修正作業のポイント
<b>中1週間 7月15日(24:00)までに例題1・課題(2):修正[請求項]をE-mailで提出(全員)</b>		
<b>時間配分</b>	<b>2日目7/17(火曜日)、2時間20分 会議室集合:18:40~21:00pm</b>	
18:40-19:00	課題(2)の配布と発表	
19:00-20:00	(講師)請求項の書き方(実例にもとづいて)	講師・受講生の討論
	休憩:10分 例題(2)課題(3)を配布(発明品、明細書及び引例)	
20:10-21:00	(講師)請求項起案のポイント	課題(3)請求項の起案、チームでの検討
<b>中2週間 7/28 期限、受講生より、例題2・課題(3)(請求項及び引例との対比説明)をE-mailで提出</b>		
<b>時間配分</b>	<b>3日目7/31(火曜日) 2時間20分 会議室集合:18:40~21:00pm</b>	
18:40-19:00	(講師)拒絶理由通知を出す	講師より、拒絶に伴う事前講評
19:00-20:00	補正書または意見書の完成と提出	2-3人のチームで統一して完成
	休憩:10分	
20:10-20:45	(講師)審査官の視点での、意見書、補正書作成のアドバイス	
20:40-21:10	質問 質疑応答	

**第14回 / 特許明細書・意見書 / 補正書作成演習講座(7時間) / 平日夜3日コース 申込書**

**実施:7月10日(火)、7月17日(火)、7月31日(火)、 申込締切:7月4日(水) FAX 03-3292-2701**  
 (をお願いします) 申込書受領後お支払いのご案内をお送りします。

職場での受講( )/個人での受講( ) 特許事務所名、企業名・部署(請求書送付先所在地)  
 (請求書・資料送付先)〒

	TEL
<b>受講者氏名</b> ..... 印	FAX
<b>申込責任者</b>	E-mail

割引対象(3000円割引):中国知的財産情報・ChinaIP誌購読の企業/事務所職員対象: 対象である( )

参考情報 弁理士(登録番号 )、企業・その他( )、技術分野(電気 機械 化学 その他)